

# べるふ

verve

55<sup>th</sup>  
Ujiobaku Hospital  
記念号

09

あなたと栄仁会をむすぶ情報誌  
Dec.2012

宇治の地で55年。  
これからも地域のみなさまを  
24時間見守り続けます。

写真：宇治おうばく病院から見た宇治市内

特集

あきらめない医療・介護のために。

## つながる・広がる 栄仁会ネットワーク

- 地域とさらにつながるために 栄仁会が進める取り組み
- もっとつながる・もっと広がる 栄仁会の医療・介護ネットワーク
- 思いをつなぐ、未来へ広げる 栄仁会スタッフのメッセージ

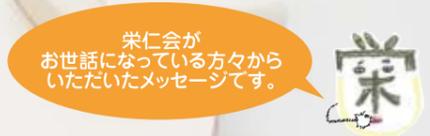


医療法人 栄仁会

宇治おうばく病院

べるふ：伝語のVERVE「活気」より

## 55周年を迎えた 栄仁会へのメッセージ



Message  
京都精神神経科診療所協会 会長  
まるいクリニック 院長  
丸井 規博 先生



Message  
宇治久世医師会 会長  
大石医院 院長  
大石 嘉啓 先生

### 同じ精神科医療を担う者として、 先進的な取り組みに注目しています

創立55周年おめでとうございます。貴会では、認知症病棟の設置、うつ病復職デイケア、「ワークネットきょうと」の就労支援、ハード・ソフト両面を充実させた救急医療など常に先を行く取り組みをされています。この「時代を鋭く読む力」に、私はかねてから注目してきました。また、まるいクリニックにとって宇治おうばく病院は救急や重度の患者さんの入院先として貴重な受け皿ですし、近年増えている就労希望者には「ワークネットきょうと」を紹介しています。私だけでなく、京都精神神経科診療所協会の方々も、貴会のお世話になっていると思います。病院と診療所の違いはありますが、京都の精神科医療を担う者として、今後もいろいろと学びたいと考えております。貴会の益々のご発展に期待しています。



Message  
公益社団法人  
認知症の人と家族の会  
本部常任理事 京都府支部代表  
荒牧 敦子 さん

### 認知症における地域のリーダーとして、 全国に先駆けた活動を担ってほしい

認知症の人と家族の会では、認知症や身体合併症のある方で、入院を要する方の受け入れ先がないことが悩みでした。その点、認知症病棟を備える宇治おうばく病院は、非常に心強い医療機関です。私自身も認知症の親族の介護をした経験がありますが、他の精神疾患と比べて、認知症は症状が人それぞれ違うため、ご家族や地域住民にご理解いただくのが難しい病です。しかし、認知症の勉強会などを数多く開いておられるからでしょうか、宇治地域は全国的にも認知症への理解が高いエリアだと実感します。実績のある貴会には、今後も地域をリードする存在として医療機関、ご家族、行政との連携を深め、認知症患者さんへのアウトリーチなど全国に先駆けた取り組みをしていただきたいと思います。

### 内科をはじめ当医師会との連携を深め、 宇治地域の医療を支えて欲しいですね

私は、この宇治地域に生まれ育ちましたが、幼少の頃に創立された医療法人栄仁会がもう55周年を迎えられるのですね。以前は、宇治おうばく病院に対するイメージが強かったのですが、近年は訪問看護や介護分野の施設など、幅広い医療サービスが地域に浸透した印象があります。現在、国は精神科に関わらず患者さんを在宅で診る方針を打ち出しており、私たち医療機関と地域との関わりは、さらに重要になります。また、認知症患者さんの増加も想定されますし、精神科医療の役割はさらに大きくなることでしょう。宇治久世医師会内の方々とフォーラムや勉強会などを開催しているのと同じく、今後も連携を深め、地域に対するより良い医療の提供に尽力していただきたいと考えております。



Message  
宇治市民生児童委員協議会  
会長  
奥西 隆三 さん  
副会長  
岡見 恵 さん

### 宇治おうばく病院は最も親近感があり、 地域に溶け込んだ病院だと感じます

宇治おうばく病院近隣の民生委員にとって、精神疾患の方との地域生活は日常の風景です。これは、貴会の治療やケアが充実しており、また病院自体が地域に溶け込んでいる証だと思います。実際に、地域住民から精神疾患を抱える方々に関する相談をいただくことは、ほとんどありません。かつて、担当の精神疾患の方が困った際に助けることができず、「医療機関との連携が不可欠だ」と実感したことがあります。現在では互いの情報提供が密接になり、また宇治市宇治地区民生児童委員協議会が主催する精神保健サロン「元気です会」にも協力していただくなど、最も親近感のある精神科医療機関だと感じています。現状でも十分、満足していますが、さらに地域の方々へのケアも充実させてくれるとうれしいですね。

あきらめない医療・介護のために。

# つながる・広がる 栄仁会ネットワーク

特集

## 医療法人栄仁会は55周年を期に 社会医療法人をめざして歩きます。



### 50周年からの5年間を通じて、 救急・急性期のハード・ソフト両面を整備

2007年に50周年を迎えた医療法人栄仁会は、法人目標として、『地域に期待される医療・介護を総合的に提供できる法人』を掲げてきました。特に5年前から国による医療費改定が2回行われ、精神科医療も救急・急性期と慢性期と機能別に分けられる方向性が明確になりました。これは、従来の精神科医療を、医療と福祉へと分けていくということです。

こうした状況をふまえて、栄仁会では救急・急性期の整備をめざして、医師やコメディカルなどマンパワーと治療ソフトを充実させるとともに、2009年10月に救急病棟を、2012年2月には急性期治療病棟を開設しました。この救急・急性期のハードとソフト両面の充実を背景に、京都府南部の精神科救急制度において、輪番・バックアップ病院を担っています。さらに現在は、24時間365日の救急体制整備、医療や保護のために入院を要する方の医療保護入院を行うなど地域の期待に応えてきました。

### 2015年の社会医療法人化により、 総合的な医療・介護サービスの確立をめざす

国は、5年以上の長期入院患者さんを年間5%退院させていく方針を打ち出しており、今後の精神科医療は基本的に訪問看護、デイケア、介護保険、アウトリーチ（地域への出張医療）等のサービスを活用しながら、在宅で患者さんを支える形が主流になります。そのため栄仁会では、救急・急性期の医療体制を整備する一方で、病状が安定すれば医療サービスを活用しながら患者さんを診ていく退院促進・地域密着を進めています。しかし、さらに高齢化が進むと在宅で患者さんを支えきれないケースも出てくると予想されます。

そこで、現在めざしているのが、単身生活が困難な患者さんを支える特別養護老人ホームの設置が可能となる2015年の社会医療法人化です。また、増加が予想される認知症患者さんへのアウトリーチの整備も進めていきます。今後も医療法人栄仁会では、さらにスタッフ一人ひとりが求められる医療・介護の能力を高め、質の高い医療サービスを提供していきたいと考えています。

医療法人栄仁会  
宇治おうばく病院 理事長  
三木 秀樹 (愛知県出身・うお座)

1956年生まれ。1983年金沢大学医学部卒業後、研修医を経て1985年より宇治おうばく病院へ。2005年第9代院長就任。2009年6月より理事長を兼任。



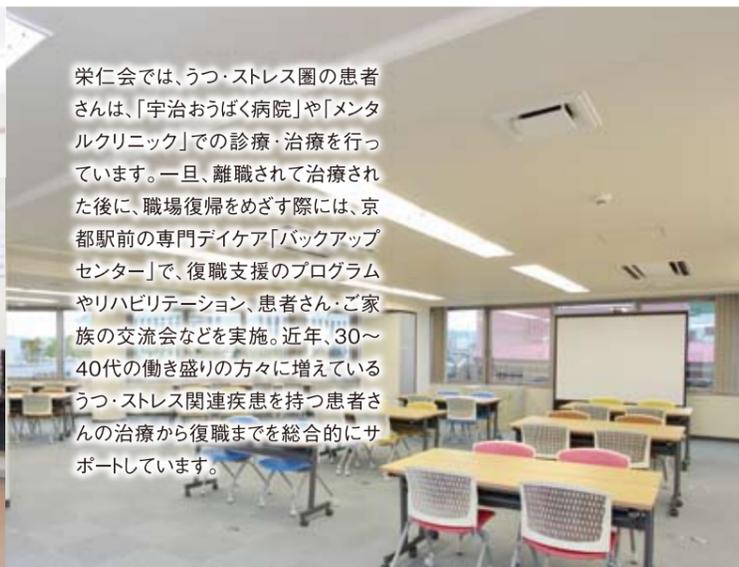
**MISSION 4** 就労をめざす方へのバックアップ体制



近年増えている統合失調症関連の患者さんで就労を希望される方には、宇治おうばく病院内の精神科デイケア「きらり」で、社会生活や就労準備のプログラムを実施しています。また、関連施設の「ワークネットきょうと」では、一般就労を目標とした就労支援を提供。基礎訓練から実習までの職業訓練やご本人の個性・要望に応じた就労先開拓など、患者さんの自立した社会生活を支援しています。

栄仁会では、うつ・ストレス圏の患者さんは、「宇治おうばく病院」や「メンタルクリニック」での診療・治療を行っています。一旦、離職されて治療された後に、職場復帰をめざす際には、京都駅前の専門デイケア「バックアップセンター」で、復職支援のプログラムやリハビリテーション、患者さん・ご家族の交流会などを実施。近年、30～40代の働き盛りの方々に増えているうつ・ストレス関連疾患を持つ患者さんの治療から復職までを総合的にサポートしています。

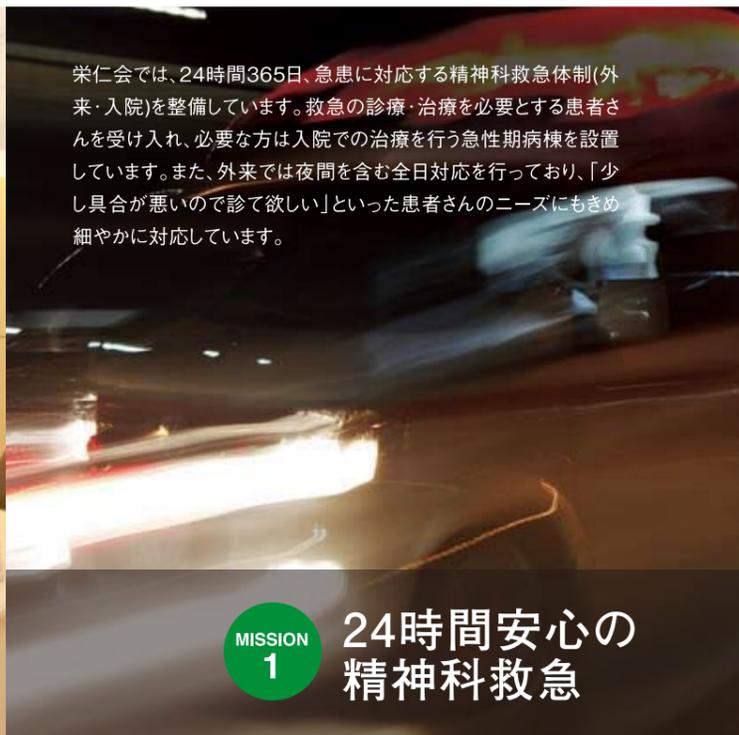
**MISSION 3** うつ治療～復職まで継続的にサポート



**MISSION 2** 充実の京都駅前施設で京滋エリアもフォロー



2011年、JR京都駅前に、働く人と女性の方々のうつ・ストレスを中心としたケアを行う「メンタルクリニック」、「カウンセリングルーム」、うつ・ストレス関連疾患を持つ方の復職支援施設「バックアップセンター・きょうと」の3施設を集約。重度の方は、「宇治おうばく病院」と連携して治療や入院サポートを行っています。仕事帰りの方も通院・通所の利便性が高く、宇治エリアだけでなく、京都府内から近畿一円の幅広い地域の方々への精神医療を行っています。



**MISSION 1** 24時間安心の精神科救急

栄仁会では、24時間365日、急患に対応する精神科救急体制(外来・入院)を整備しています。救急の診療・治療を必要とする患者さんを受け入れ、必要な方は入院での治療を行う急性期病棟を設置しています。また、外来では夜間を含む全日対応を行っており、「少し具合が悪いので診て欲しい」といった患者さんのニーズにもきめ細やかに対応しています。

# 地域とさらにつながるために

医療法人栄仁会では、「地域に期待される医療・介護を総合的に提供できる法人」をめざして、さまざまな

# 栄仁会が進める取り組み

取り組みを推進、実施しています。創立55周年を迎えた栄仁会グループの「今」と「思い」をご紹介します。

**MISSION 8** 在宅支援を通じてご家族のケアも強化



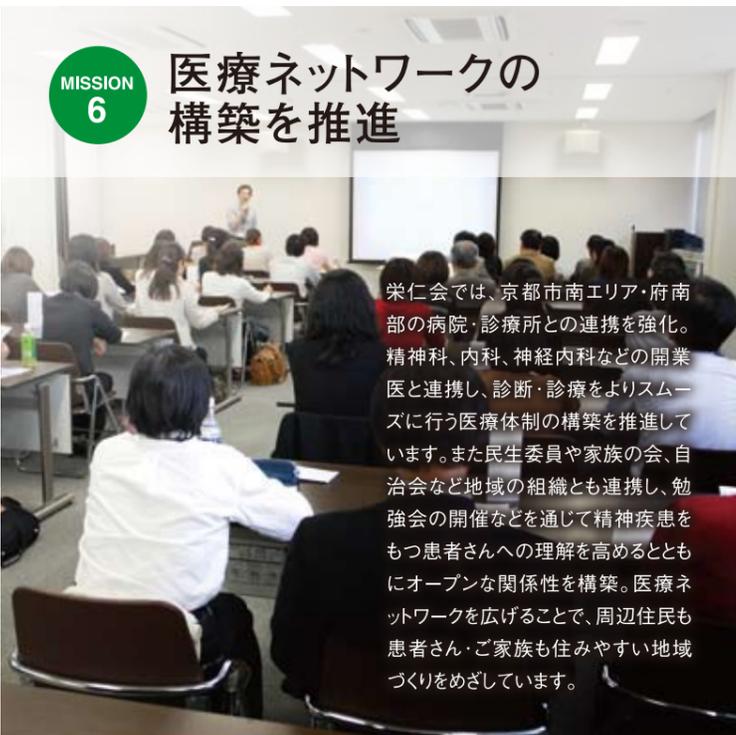
精神疾患をもつ患者さんの在宅生活においては、患者さんを支えるご家族のケアも重要です。幅広い医療施設を展開する栄仁会では、ケースワーカーを中心に多数のコメディカルが勤務。ケースワーカー、看護師、ヘルパーなど現場の各スタッフが普段からご家族との交流を深めており、幅広い介護・介助のアドバイスや相談に対応しています。また、相談会やご家族の交流会も開催するなど、ご家族への精神疾患に対する活動やケアにも力を入れています。

**MISSION 7** 地域で見えていく認知症の在宅ケア



今後、高齢化の進展とともにさらに増えると予想されている認知症患者さんは、重症の方や緊急を要する方を除いて自宅で過ごしていただく方針です。認知症は診断が難しく合併症を伴う場合もあるため、認知症が疑われる患者さんは、地域の開業医とのスムーズな連携により、的確な診断・治療を行います。また、自宅で過ごされている方には、デイケアや訪問介護、訪問看護等のサービスの活用により、認知症になってもご本人が安心して暮らせるケア体制を整備しています。

**MISSION 6** 医療ネットワークの構築を推進



栄仁会では、京都市南エリア・府南部の病院・診療所との連携を強化。精神科、内科、神経内科などの開業医と連携し、診断・診療をよりスムーズに行う医療体制の構築を推進しています。また民生委員や家族の会、自治会など地域の組織とも連携し、勉強会の開催などを通じて精神疾患をもつ患者さんへの理解を高めるとともにオープンな関係性を構築。医療ネットワークを広げることで、周辺住民も患者さん・ご家族も住みやすい地域づくりをめざしています。

**MISSION 5** 「地域へ帰す」を最後まであきらめない



栄仁会では、症例に関わらず、急性期の治療を終えた患者さんにはできる限り地域に帰って自立した質の高い生活を送っていただくこと、地域になかなか帰れない人には最後まで治療・支援をあきらめないことを治療方針としています。地域に帰られた患者さんには、訪問介護や訪問看護、ケアハウスやグループホームなど栄仁会の医療・福祉・介護ネットワークでフォロー。充実した医療サービスを継続的に提供することで、患者さんを最後までケアしています。



人・施設・地域の密接な連携で、  
 地域と患者さんの期待に応える。

宇治おうばく病院  
 副院長・法人事務局長  
 山口 政美 (愛媛県出身・やぎ座)

MYテーマ  
 あげたい 出逢えて  
 おかたと思ったら  
 える仕事したい!

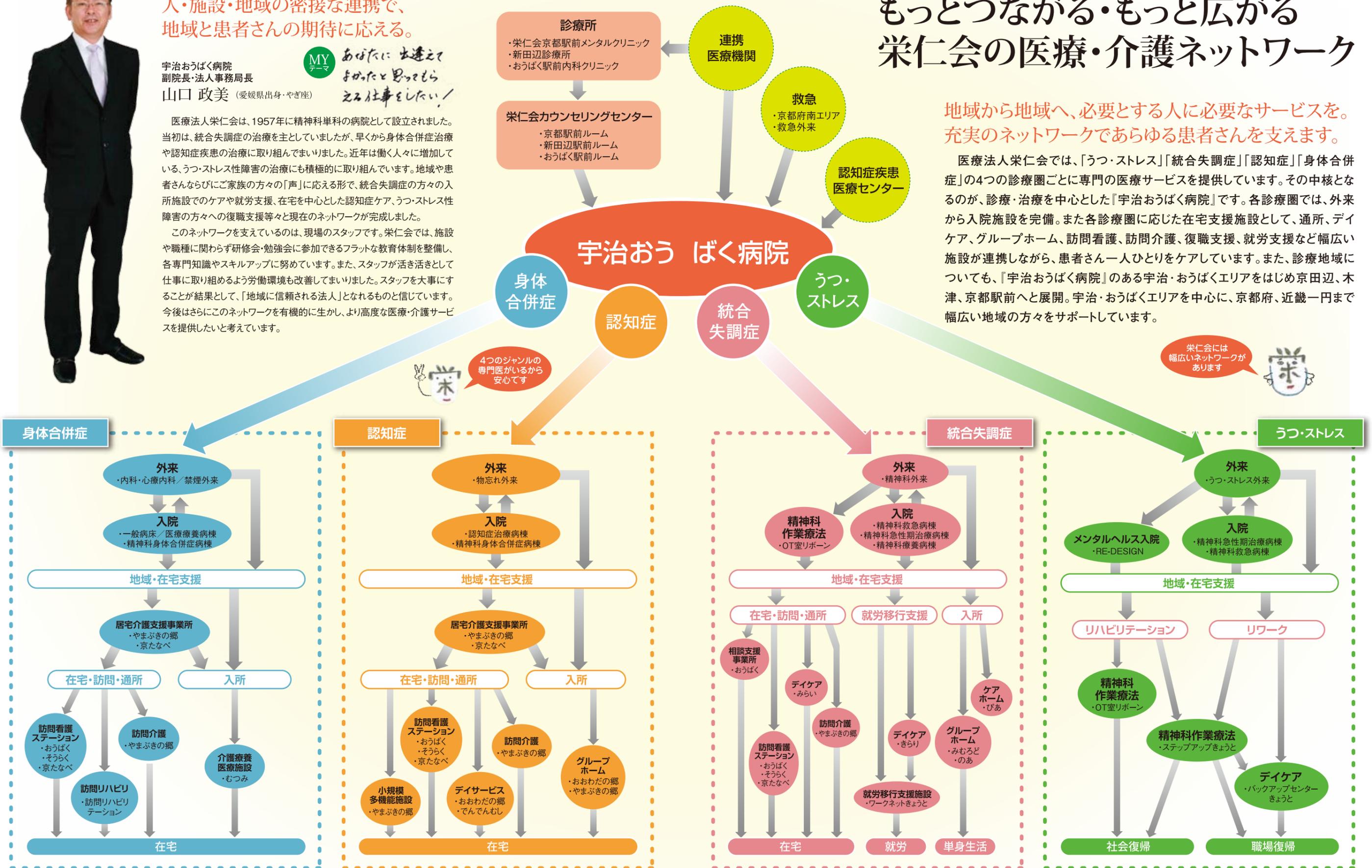
医療法人栄仁会は、1957年に精神科単科の病院として設立されました。当初は、統合失調症の治療を主としていましたが、早くから身体合併症治療や認知症疾患の治療に取り組んでまいりました。近年は働く人々に増加している、うつ・ストレス性障害の治療にも積極的に取り組んでいます。地域や患者さんらびにご家族の方々の「声」に応える形で、統合失調症の方々の入所施設でのケアや就労支援、在宅を中心とした認知症ケア、うつ・ストレス性障害の方々への復職支援等々と現在のネットワークが完成しました。

このネットワークを支えているのは、現場のスタッフです。栄仁会では、施設や職種に関わらず研修会・勉強会に参加できるフラットな教育体制を整備し、各専門知識やスキルアップに努めています。また、スタッフが活き活きとして仕事に取り組めるよう労働環境も改善してまいりました。スタッフを大事にすることが結果として、「地域に信頼される法人」となれるものと考えています。今後はさらにこのネットワークを有機的に生かし、より高度な医療・介護サービスを提供したいと考えています。

# あきらめない医療・介護のために。 もっとつながる・もっと広がる 栄仁会の医療・介護ネットワーク

地域から地域へ、必要とする人に必要なサービスを。  
 充実のネットワークであらゆる患者さんを支えます。

医療法人栄仁会では、「うつ・ストレス」「統合失調症」「認知症」「身体合併症」の4つの診療圏ごとに専門の医療サービスを提供しています。その中核となるのが、診療・治療を中心とした『宇治おうばく病院』です。各診療圏では、外来から入院施設を完備。また各診療圏に応じた在宅支援施設として、通所、デイケア、グループホーム、訪問看護、訪問介護、復職支援、就労支援など幅広い施設が連携しながら、患者さん一人ひとりをケアしています。また、診療地域についても、『宇治おうばく病院』のある宇治・おうばくエリアをはじめ京田辺、木津、京都駅前へと展開。宇治・おうばくエリアを中心に、京都府、近畿一円まで幅広い地域の方々をサポートしています。



# Eijinkai Staff Message

## 統合失調症圏



グループ  
ホーム

自立した生活を支える、  
仕事そのものをやりがいに。

けあほうむびあ 精神保健福祉士  
山崎 理恵 (京都府出身・みずがめ座)

一時的な生活の場としてご利用いただく通過型施設での生活支援、家探しなど地域移行の支援を中心に行っています。地域移行後もヘルパーや訪問看護師などと連絡を取って支援します。私の願いは、利用者の方々に地域の中で新たな人間関係を築き、豊かな人生を送っていただくこと。一人ひとりに寄り添って自立した生活を手伝うという仕事自体に、やりがいを感じます。



就労  
支援

利用者さんの就労意欲を、  
一つでも多く現実になりたい。

ワークネットきょうと 精神保健福祉士  
太田 智之 (京都府出身・おうし座)

就労の基礎訓練から就職後の定着支援まで、一般就労支援全般を担当しています。就労先の開拓では本人の個性や能力、希望に応じた会社を探して交渉します。簡単ではない分、利用者さんから「就職できた」という一言をいただくと本当にうれしいです。一人でも多く就労者を輩出して、京都で就労支援といえば、「ワークネットきょうと」と言われる施設にしたいです。



医局

アウトリーチ事業とSDMを  
医療の現場へ広げていく。

宇治おうばく病院 救急・急性期病棟 医師  
古川 暁子 (奈良県出身・しし座)

主に、救急病棟と急性期治療病棟での治療や地域の患者さんの生活支援を行うアウトリーチ事業を担当しています。アウトリーチは、病棟内とは違って普段の患者さんを知ることができるので新鮮です。治療で大切なのは、患者さんの個性や能力を引き出すこと。そのために、SDM(患者さんやご家族に病気や治療法を理解していただき、選択していただく)を実践しています。



訪問  
看護

地域の資源を活用しつつ、  
地域に生きる喜びを届けたい。

訪問看護ステーションおうばく 作業療法士  
島津 佐智 (奈良県出身・ふたご座)

在宅の医療ニーズが高まる中、安定した生活が送れるよう訪問先で作業療法を行っています。精神疾患に関わる作業療法士は少ないですが、病状や環境を含めて生活を総合的にみれる職種として、訪問を必要とされる時や目標を達成して必要なくなる時もやりがいを感じています。地域の資源を利用し、自立して充実した生活になるよう積極的に提案をしていきたいです。



# 思いをつなぐ、未来へ広げる 栄仁会スタッフのメッセージ

充実した医療・介護施設とスタッフを背景に広がってきた栄仁会のネットワーク。うつ・ストレス圏、統合失調症圏、認知症圏、身体合併症圏の各現場で栄仁会を支えるスタッフたちの仕事と思いを紹介します。

## うつ・ストレス圏



宇治  
おうばく  
病院

もっと自分の腕を磨き、  
看護レベルの向上に貢献する。

宇治おうばく病院 RE-DESIGN A8病棟 看護師  
西俣 友博 (京都府出身・さそり座)

ストレスケアと内科的治療を行うA8病棟の看護師として、患者さんの社会復帰や復職支援に取り組んでいます。うつ・ストレス障害の患者さんは、「しんどい」「不安」といった訴えが多いため、患者さんと密接にコミュニケーションをとりながら、また気持ちを察しながら負担を軽減するように心がけています。その点、当病棟ではうつ病クリニックバスを活用しているため、患者さんの経過が分かりやすいです。私は、人の役に立つのが好きです。新しい看護の知識や技術を身に付けて、自分も病棟の看護もレベルアップさせていきたいと思っています。

復職  
デイケア

再発を防止するプログラムを  
いつか必ず作り上げたい。

バックアップセンター・きょうと 臨床心理士  
鹿野 麗子 (東京都出身・しし座)

復職準備と再発予防のプログラムのうち、利用者さんの病歴振り返り、面接を通じて得られる利用者さんの考え方や行動傾向の分析、復職時期の評価、ストレスマネジメント講座のアシスタントなどを担当しています。私は以前、企業の人事部門で働いていましたが、働く人を会社の外から支援したいと思って臨床心理士になりました。今の職場は、多職種スタッフが連携を取りやすい環境で、チーム医療をしている実感を持てる職場です。臨床心理士として力をつけて、再発防止に有効なプログラムをチームで創り上げることが将来の夢です。



診療所

クリニックの“顔”として、  
気持ちの良い空間を支える。

京都駅前メンタルクリニック 事務員  
桑島 登喜子 (京都府出身・おうし座)

クリニックの受付および事務を担当しています。事務業務ではミスをしたくないこと、受付業務では来院から帰院まで患者さんに少しでも気持ちよく過ごしていただけるよう対応することを心がけています。以前、宇治おうばく病院で外来の事務を担当していた頃よりも患者さんと接する機会が多いので、接遇面に対する意識は高くなったと思います。事務スタッフは医師や看護師のように直接医療行為に携わることはありませんが、治療を続けていく中で次第に表情が明るくなっていく患者さんの姿は、私にとって大きなやりがいとなっています。



# Eijinkai Staff Message

## 思いをつなぐ、未来へ広げる 栄仁会スタッフのメッセージ

### 身体合併症圏



栄養管理

身体も心も元気になる  
 食事を提供していく。

宇治おうばく病院 栄養管理室 管理栄養士  
**影山 麗** (京都府出身・さそり座)

栄養管理室の一員として、病棟の食事や職員食堂の献立作成、患者さんの栄養管理などを行っています。食事の量は、毎日、1700食に及びます。患者さんの年齢層はさまざまですが、日々おいしさを意識して、楽しい食事になるような献立を心がけています。院内の給食は、退院後の献立に活かせる内容にしていますし、食事を通じて栄養の大切さを伝えていきたいですね。



訪問リハビリ

リハビリの提案力を高め、  
 患者さんの可能性を広げる。

宇治おうばく病院 訪問リハビリテーション 作業療法士  
**藤原 英行** (京都府出身・てんびん座)

高齢で身体障害をもつ患者さんに対して、院内や訪問でのリハビリテーションを行っています。リハビリの目標は利用者さんやご家族の希望を参考に設定し、日々の関わりでは利用者さんのペースを尊重することを大切にしています。でも、私の理想は、患者さんの可能性を広げるリハビリを提案できるセラピスト。そこをめざして、日々、スキルを高めていきたいと思っています。



### 認知症圏



デイサービス

自然とともに、その人のままで、  
 生きる意欲を感じていただく。

デイサービスでんでんむし 精神保健福祉士  
**八巻 晃子** (京都府出身・おうし座)

介護計画の作成やご家族の相談対応、利用者さんへの介護支援を行っています。認知症の方やご家族は、不安を抱えています。当施設の周辺は自然にあふれているので、週に数回、近隣の契約農園で野菜などの栽培をしています。自然に触れると、利用者さんの笑顔も増えます。こんなふうに、「このままでいいんだ」と、生きる意欲を感じてもらえる介護を提供したいと思っています。



外来

患者さんやご家族の心を支え、  
 負担を軽減できる看護を。

宇治おうばく病院 外来 准看護師  
**上手 まり子** (宮崎県出身・かに座)

「もの忘れ外来」を担当しています。認知症の方は、記憶をなくしてもその時の感情は覚えています。そのため、ちょっとした言葉遣いやさりげなく体を支えるなど、患者さんが心地よく、また安心できる看護を心がけています。どんな些細なことでも気軽に相談していただける存在になれるよう、患者さんやご家族の戸惑いや不安の軽減に努力していきたいと思っています。



訪問介護

利用者さんは未来の私。  
 いつまでも優しく支えていく。

訪問介護やまぶきの郷 介護福祉士  
**菅沼 香織** (京都府出身・おひつじ座)

訪問介護員として、利用者さんのご自宅を訪問して身体介護や家事の援助を行っています。いろいろな疾患の方がいるため、訪問中は、「今、何を求めているのか」を考え、相手に合わせた対応を心がけています。私自身、介護を受ける際には優しくして欲しい。だからこそ、利用者さんには常に優しく接します。できれば、ずっと一緒にいてあげたいという気持ちです。



介護療養

患者さんの痛みをやわらげ、  
 軽減できる介護のために。

介護療養型医療施設むつみ 看護補助  
**小川 真琴** (京都府出身・おひつじ座)

病棟内の介護施設で、要介護3~5の方や認知症、身体合併症の方への生活援助を担当しています。利用者さんの中には動く際に痛みを訴える方も多いため、私が介助した際に「上手やな」と言われると、やりがいを感じます。でも、まだまだ仕事も介護技術も勉強中。まずは介護福祉士資格を取得して、専門知識に基づいた安心で安楽な介護を実践したいと思っています。



小規模多機能施設

人と人とのふれあいと、  
 楽しさに満ちた介護生活を。

小規模多機能型居宅介護やまぶきの郷 精神保健福祉士  
**那須 公実** (和歌山県出身・やぎ座)

通所・訪問・宿泊と24時間体制で介護を行う施設で、介護プログラムの作成や介護業務を行っています。プログラム作成で考えていることは、いかに利用者さんに合った過ごし方や楽しい内容にするか。でも、一番大事なのは、人と人のコミュニケーション。スタッフや利用者の方々と積極的にふれあいながら、その人らしい楽しい生活をつくっていきたくと考えています。



グループホーム

利用者さんの笑顔のためなら、  
 あらゆる努力を惜しまない。

グループホームおおわだの郷 介護福祉士  
**上村 智子** (京都府出身・いて座)

共同生活施設で介護を行っています。当施設は常勤の看護師がいます。利用者さんが体調を崩されたときも病院とスムーズに連携が取れるので、利用者さんも安心できる環境です。その中で、私は利用者さんの笑顔のためには努力を惜しまないという気持ちで、日々働いています。時には、施設内の催しでお笑い役もしますし、人の世話好きな私にはぴったりの仕事ですね。



連携医療機関紹介 ② まるいクリニック



クリニック



デイケア

丁寧な診療・ケアで病を軽度にも留める。

「診療所ならではの丁寧な診療」をモットーに、幅広い精神疾患を診療している丸井規博先生。京都市内の精神科で一番にクリニックの名が思い浮かぶといわれるほど、市民から高い信頼を得ています。

「丁寧な診療に必要なものは、医師やスタッフの高度なスキル。患者さんの情報を共有する毎朝のカンファレンス、毎月の症例検討会、また外部の研修会などで、日々研鑽を重ねるよう意識しています」  
軽度のうちに治療やケアを行い、患者さんを社会生活や在宅生活に留めたいとの思いから、『まるいクリニック』では、訪問看護ステーション、デイケア、ナイトケアを開発しています。「私のテーマは、入院させない医療。外来以外にも、デイケアや訪問看

護などで細やかにケアをしています。入院が必要な方は、受け入れていただけるので、宇治おうばく病院の存在は診療所にとってありがたいですね。



**まるいクリニック**  
〒604-8165  
京都市中京区室町通三条下烏帽子屋町493番地  
TEL:075(253)1808  
<http://www.5e.biglobe.ne.jp/~marui/>



まるいクリニック 院長  
**丸井 規博** 先生  
(岐阜県出身・おとめ座)  
1998年開業、2003年に現住所へ移転。1階に「むろまち訪問看護ステーション」、3、4階に「デイケア」を併設。患者さんや利用者さんへのレクリエーションとして、スタッフとともにバンドを結成し、ギターを担当。京都精神神経科診療所協会会長。

認知症疾患医療センター  
(地域型)を開いたします。

国の事業として、京都府より当院が事業委託を受け、平成24年12月1日より山城北園域で地域型の認知症疾患医療センターを運営することとなりました。  
すでに、同園域で運営されている府立洛南病院の認知症疾患医療センターとは連携ならびにすみ分けをしながら、認知症疾患に関する諸事業を行ってまいります。  
今後も地域の保健医療・介護に貢献できるように一層の努力をしてまいりますので、地域の住民の方々ははじめ医療関係者、介護関係者等、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



Web アンケートのお願い

みなさまの声をお寄せください。

栄仁会が発行する広報誌『べるふ』ですが、より良い広報誌をめざしてみなさまのご意見・ご感想を受け付けております。「この記事が良かった」「これは分かりにくかった」「こんな情報が知りたい」など、どんなことでも結構ですので、お気軽にご意見ください。

<http://www.eijinkai.or.jp/ans/>

編集後記

もし病気がなかったら？回復に従ってどのようなサービスが受けられるのか？この号では、4つの疾患の回復に沿いつつ、55年を経た栄仁会の全体を「見える化」してみました。また、それぞれの道で寄り添える案内人(全員ではありません)もお示ししました。55周年を迎えることができました。も一人のおかけであり、それを今後につなぐのも「人」です。病院間・診療所との関係、そして地域とつながるのも「人」です。人と人の顔が見える関係づくりの一助になればと考えております。  
(広報委員会・村井俊彦)

“よりそって医療、よりそってケア” 栄仁会スタッフ募集

<b>職種</b>	①看護師 ②准看護師 ③看護補助者(無資格可)	<b>院内 保育所 完備!</b>
<b>勤務</b>	①② 8:30~17:00・16:45~翌8:45(病棟2交替制) ③ 8:30~17:00(早出・遅出・夜勤有/週5日)	
<b>待遇</b>	①② 年間休日113日(うるう年は114日)、有給休暇・特別休暇・各社保完備 ③各社保完備 ①② 常勤者には、就職支度金として20万円支給!!	<b>法人事業所介護スタッフも 同時募集</b>
<b>応募・問い合わせ</b>	詳細はお気軽にお電話ください。 0774-31-1362 (担当/総務管理室 松本)	

